

古事類苑

地部七

尾張國

尾張國ハ、ヲハリノクニト云フ、東海道ニ在リ、東ハ參河、西北ハ美濃、西南ハ伊勢ニ界シ、南ハ海ニ至ル、東西凡ソ八里、南北凡ソ十九里、其地勢ハ、概ネ平衍ニシテ、西半ハ即チ濃尾平原ノ一部ヲナシ、其間ニ甚シキ高低ヲ見ズ、東半ハ、一般ニ低キ丘陵地ヲナシ、國境ニ於テ僅ニ山巒起伏スルアレドモ、絶エテ峻秀ナルモノナシ、此國ハ、古ヘ國府ヲ中島郡ニ置キ、海部アヲナカ中島ノ葉栗丹羽ハクグリニ春部ハスガク山田ヤマダ愛智アイチ知多チタノ八郡ヲ管シ、延喜ノ制、上國ニ列ス、中世ニ至リ、海部郡ヲ海東カイトウ海西カイサイノ二郡ニ分チ、春部ヲ改メテ春日井カスガキト爲シ、山田郡ヲ廢シテ春日井、愛智ノ二郡ニ併セ、天正年中、中島、葉栗、海西ノ各一部ヲ割キテ、之ヲ美濃國ニ屬セシム、明治維新ノ後、春日井郡ヲ東西二郡ニ分チテ、凡テ九郡ト爲シ、新ニ名古屋市ヲ設ケテ、愛知縣ヲシテ之ヲ治セシム、

名稱

〔倭名類聚抄五〕尾張平波里

〔饅頭屋本節用集遠〕尾張尾州地

〔日本風土記一寄語島名〕尾張倭阿里

〔倭訓栞前編五〕をはり 尾張の國は、南智多郡のかた、尾の張出たるが如し、一説に小墾の義也、式

山田郡尾張神社あり、小針村にて、香語山命を祭れり、又中島郡に尾張大國靈神社とも見えたり、續日本紀に、太宰府帥大貳并三關及尾張守等始給倭仗と見えたるは、尾張國は路四方に通じて、